

柏市内大学ビブリオバトルを開催しました

2019年11月3日（日）ウェルネス柏にて、柏市立図書館と柏市内大学図書館（開智国際大学、東京大学、麗澤大学、二松学舎大学）の合同企画である知的書評合戦ビブリオバトルが開催され、3名のバドラーが発表しました。

今年で8回目の開催となり、本学からはオープンキャンパスで行われた学内予選で優秀な成績を修めた文学部国文学科1年の吉田健人さんが代表として出場し、『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』（浦久俊彦著・新潮社 2013年）の紹介を行いました。

トップバッターにもかかわらず、リラックスした雰囲気できき手とコミュニケーションを取るような吉田さんの発表に、会場は終始笑顔が溢れていました。

まさに、リストの曲を聞きながら紹介本をめくってみたくなるような、わくわくする発表でした。観客による投票の結果、吉田さんは「奨励賞」を受賞しました。

ビブリオバトルは、誰もがいつでもどこでも気軽に楽しめるコミュニケーションゲームです。公共図書館や大学図書館に限らず、書店や個人サークル等でも開催されていますので、ぜひ皆さんも参加してみてください。

好きな本を紹介しあうことで世界が広がり、人、音楽、芸術、スポーツ、食べ物などなど、きっと素敵な出会いがあるはずです。

【今回紹介された本】★印がチャンプ本

『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』（浦久 俊彦 著/新潮社 2013年）
★『いとみち』（越谷 オサム 著/新潮社 2011年）
『予想どおりに不合理』（ダン・アリエリー 著/早川書房 2008年）

